

# 南房総市地域福祉計画・地域福祉活動計画

## 第1回策定委員会

### 〈会議要録〉

日時：平成30年10月18日（木）

午後6時30分～

場所：南房総市三芳保健福祉センター

2階 大会議室

#### 1 開会

- ・事務局社会福祉課相川課長が開会を宣言した。

#### 2 委嘱状交付

- ・嶋田副市長から各委員へ委嘱状の交付が行われた。

#### 3 挨拶

- ・嶋田副市長より挨拶があった。（内容は省略。）

#### 4 委員紹介

- ・事務局社会福祉課相川課長の進行のもと、策定委員及び事務局、支援業務コンサルタント職員の紹介があった。

#### 5 委員長及び副委員長の選任

- ・策定委員の中から、南房総市議会議員青木正孝委員が委員長に、作新学院大学女子短期大学部教授坪井真委員が副委員長に選任された。
- ・青木委員長、坪井副委員長より挨拶があった。（内容は省略）

#### 6 議題

##### （1）南房総市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会傍聴要綱について

- ・事務局より、資料2を基に説明が行われた。（内容は省略。）
- ・「傍聴要綱」は事務局案の通り決定された。

##### （2）南房総市地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要について

- ・事務局より、資料1を基に説明が行われた。（内容は省略。）
- ・坪井副委員長より、資料3をもとに導入研修が行われた。（内容は省略。）

##### （3）計画策定に係るスケジュール等について

- ・事務局より、資料4を基に説明が行われた。（内容は省略。）
- ・スケジュールは事務局案の通り決定された。

#### (4) 市民意識調査アンケートについて

・事務局職員よりアンケート概要について、また、コンサルタントからアンケート(案)を基に内容の説明が行われた。(内容は省略)

委員からの意見等は、下記のとおり。

中村委員：アンケートの対象を18歳以上にした理由が知りたい。

事務局：他の自治体を参考にして、また、市の規模から18歳以上にした。

高梨委員：(意見として)若い人は回答してくれるのか。

それと、問16の回答として、「保健推進員」はどの選択肢にあてはまるのか。

事務局：「13、その他」を選択して頂き、「保健推進委員」と記載願いたい。

松永委員：“社会的弱者”に光を当てなくてはならない、と考えている。ところがこのアンケートは、一般の方を対象にしているイメージ。高齢者の多い地域でもあるが、そういうインタビュー項目が全くない。例えば「年を取って最後、どこで余生を過ごしたいのか」などを入れることによって、願っていることと現状の差異が明確になるのでは。

現状のアンケートでは不十分で、課題抽出ができないと思った。

事務局：今回策定する計画は福祉の上位計画として位置づけられている。その下に個別計画が存在し、そこで用いたアンケート結果なども再分析、整理するので、本アンケートで不足している部分は補てんできるものと考えている。

松永委員：「弱者」に配慮しているということが伝わるアンケートにしてほしい。

とは言うものの、だいぶ作業が進んでいるため大幅な変更はできないと思うので、そのような気持ちを持って取り組んでもらいたい。

柳委員：1,500人を対象に、とのことだが、どのように抽出するのか。

事務局：住基台帳の情報を用いてコンピュータで無作為抽出する。

柳委員：ちゃんとランダムに選んでいるのは保証されるのか。老人が多いなど年齢なども反映されるのか。

事務局：ある程度ランダムになる。高齢人口が多くなるというのは、人口の傾向からしてある。

柳委員：回答率はどの程度を予想しているのか。

事務局：60%を予想している。

川名委員：(感想・意見として)年代への配慮をいただきたい。

あと、問36について、「困っていることがない」方はどう答えるのか。

事務局：「困っていることのうち」を「困った時に」という文言に、修正する。

松永委員：先ほどはああ言ったが、やはり「最期はどこで過ごしたいか」の問いは入れてほしい。高齢者問題にも通じてくるのではないか。「障がいを持った時に何が必要か」なども良い。

事務局：質問をアンケートに入れ込むことを本委員会で決定されたのであれば、事務局一任で他の設問を削除させていただきたい。スペース的に入れれば削らない。なるべくその方向で調整したい。

◎アンケートに追加するかの決を取った結果、賛成多数で質問項目として入れることが決定された。

堀江委員：(意見として)問 31 は、働いているのに困っている人は答えづらいのでは、と思った。

中村委員：問 28 の選択肢に『児童相談所』を加えた方がいいのでは。

事務局：選択肢を加えたいと思う。

## 7 その他

- ・事務局より以下のとおり連絡があった。
  - ①報酬の支払い方法について
  - ②次回開催は来年の6～7月を予定、日程調整は開催の1ヵ月前に行う予定でいる
  - ③団体選出で、役員改選などで委員を代わる際には事務局に連絡する
- ・委員からの意見等は、下記のとおり。

松永委員：次回開催は6月頃とのことだが、今回から間が開いてしまう方がいいのか。

事務局：ヒアリングやワークショップを取りまとめて次回の策定委員会に上程することを考慮すると、ある程度の時間を要するため、ご理解をいただきたい。

松永委員：坪井先生からご助言をいただきたい。

坪井委員：個人的な意見として話をさせていただく。策定委員会までかなり間がある。意見を言える場や市民と話をする機会はあった方がいいと思う。スケジュールはすでに可決されているので、その中で入れるとすれば、2月～5月の「ヒアリング調査及びワークショップ」へ委員に参加してもらうのはどうか。1月に手元に届く報告書に対して委員の皆さんの意見を集約して策定に反映し、また、その集約を進捗状況としてまとめて委員にフィードバックするのはいかがか。

## 8 閉会

- ・事務局社会福祉課相川課長より閉会の挨拶があった。

以上